CYCLE
消費者運動ニュース No.1208　2025年 7月 7日

発行所　全大阪消費者団体連絡会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1番19-430
TEL.06-6941-3745　FAX.06-6941-5699
https://osakacon.org/
発行人　全大阪消費者団体連絡会
印　刷　株式会社　耕文社

個人購読料　年間 5,000 円（送料込み・消費税別）
購読料送金先（口座名・全大阪消費者団体連絡会）
郵便振替口座 00900-9-8320
三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062
近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

戦後・被爆80年―抑止力でなく話し合いを

1955年、ビキニ環礁でのアメリカによる水爆実験をきっかけに、「核戦争から子どもを守りましょう」と始まった日本母親大会。70年にわたり、「生命を生みだす母親は　生命を育て　生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げてきた。

５月31日には、第69回大阪母親大会が大阪市内で開催された。実行委員長の松永律さんは、誰もが、その人らしく幸せに生きていける社会にするため、ともにがんばる勇気を膨らませましょう」と呼びかけた。

日本国憲法への気づき

記念講演は、イスラエル生まれ、埼玉在住の木工家具作家で平和活動家のダニー・ネフセタイさん。

1957年に生まれ、３歳から、国を守るために敵と戦うと教えられ、それが当たり前の国に育ち、18歳で徴兵により空軍入隊。１年間のパイロット訓練と２年間のレーダー部隊勤務の後、退役の旅で訪れた日本で日本国憲法に出会う。

戦争を放棄し、戦力を保持しない憲法を知ったとき、ダニーさんは世界最強の軍隊を持つと自負するイスラエルで戦争が続き、軍隊を持たないと決めた日本では平和が続いているとの気づきを持った。また、子どもの頃から敵と教えられ、互いに行き来ができないシリアなどアラブの人たちのキッチンカーに代々木公園で出会う。会話をしてみると、そこにいたのは敵ではなく、同じ人間だという気づきがあった。

こうした気づきから軍隊を振り返ると、①良い側と悪い側という差別、②人間をランク分けし、命令絶対、③人を殺しても罪にならない、④解決方法は武力だけ、という側面が見えてきたという。

ハートマーク掲げるダニー・ネフセタイさん

イスラエルのガザ攻撃やヨルダン川西岸での不当拘束・嫌がらせは、武器の力に酔って憎しみを増やすもので、テロ行為を解決せずに増幅させると指摘。1948年のイスラエル建国以降に奪われたパレスチナ人の自由が取り戻されれば、テロを実行する目的がなくなるとした。

ダニーさんは、戦争は止められると確信することの重要性を参加者に呼びかけ、「国の責任は、“敵”を作ってあおり、“抑止力”という名で武力を増やし、その行使で犠牲者を出すことではなく、外交での話し合いによって犠牲者を一人も出さないこと。イスラエルとパレスチナも、ともに死ぬのではなく、ともに生きるという選択を必ずすることができると確信している」と訴えた。

主な内容

戦後・被爆80年―抑止力でなく話し合いを……1
消費税率引き下げ署名提出 ……2～3
参議院選挙　政策アンケート回答……4～14
国会議員に地方消費者行政への財政措置要望書 …15
ニュースピックアップ ……16